

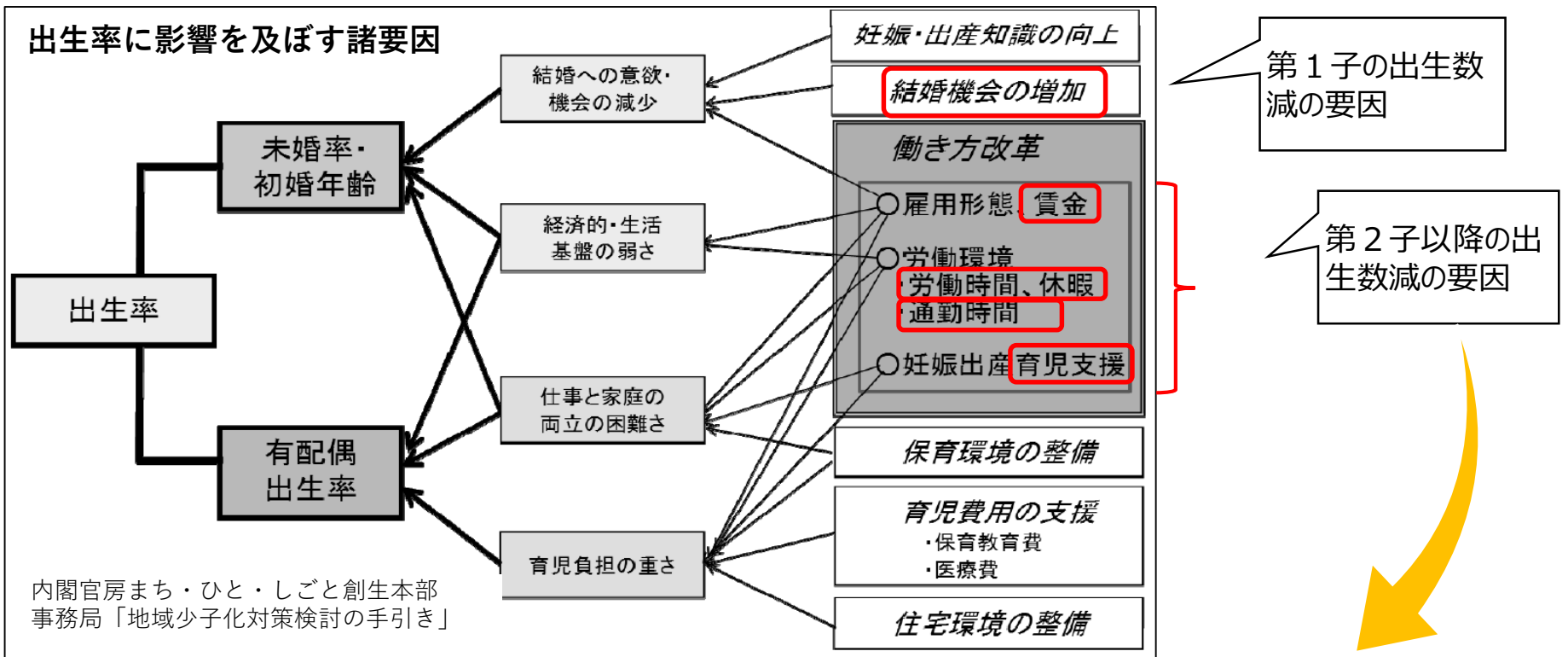
# **人口減少対策について**

## **～ 令和4年度以降の施策の方向性 ～**

**令和3年11月19日**  
**岩手県政策企画部**

# 自然減対策

・保健福祉分野にとどまらない課題であり、**産業、働き方**に加え、**子育てを支える地域づくり**が必要。



結婚して2人で働けば出産・子育てもできる経済力と地域づくり

## 育児家事の負担 (子育てを支える文化)

- ・固定的な役割分担の解消
- ・家族・子ども関係支出の増

子育て文化のバージョンアップ  
家庭・地域:男女共同参画の推進  
国:人生前半の支援の充実

## 長い労働時間 (事業者の経営力向上)

- ・商品・サービスの高付加価値化
- ・省力化・IT化（テレワーク導入等）など

アフターコロナの働き方  
「ホワイト化」、  
「テレワーク」など

## 給与水準の低さ (県内産業の振興)

- ・伸びる産業へのシフト
- ・新産業創出など

アフターコロナの産業振興  
「グリーン」×「産業」、  
「デジタル」×「産業」

# 社会減対策

- ・コロナ禍に伴う地方志向の強まりのチャンスを生かし、Iターンを含め短期・集中的に岩手に関心を持ってもらう取組が必要。(⇒【短期】「地方への関心」を「岩手への関心」へ)
- ・移住・定住のターゲットとして県出身者が考えられるが、まずは県外進学者の岩手とのつながりを強め、意識の改革や行動変容につなげていくことが必要。(⇒【中期】これから岩手を出る人の「岩手とのつながり」を強める)

